



題字は栗山流祖

発行

〒760-0071

高松市藤塚町2丁目

10-15

臥風流吟詠会本部

事務局

新春に思う

会長 徳田 寿風



新年明けましておめでとうございませう。

会員の皆様には、佳き新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

自然にあるものも、私達も大晦日から元旦になっても本当は何一つ変わってはいないのです。しかし新しい年というだけで、ひとつの区切りとして、人は心を切り替え、新たな思いの中で新しい第一歩を踏み出して歩んでゆくことができます。一年の目標を定め、そこに向かって踏み出して参りましょう。

昨年は創流六十五周年記念大会をはじめ、臥風流の諸行事も全て

事業計画通り、無事に又、盛大に開催することができました。これ偏に会員皆様方の心意気と情熱の賜であり、ご協力、ご苦勞に対し御礼と感謝を申し上げます。

定期的な事業の他に、昨年十一月十日倉敷市で開催された全国合吟コンクールに男子二チーム・女子三チーム総勢七十五名が出場いたしました。団結式に始まり幾回かの合同練習には皆様懸命に取り組んで頂き、練習の回を重ねるごとに親しく心を通わせ、本番でも精一杯の力を出し切って充実感、達成感を味わったことと思います。お疲れ様でございました。

今年七月には、いよいよ香川県で全国高等学校総合文化祭が開催されます。吟剣詩舞道界の次代を担う高校生の活躍に期待し夢を託し応援いたします。

臥風流では今年も数々の行事が

計画されています。会員一丸となつて諸行事に取り組んで参りましょう。何卒よろしくご協力賜わりますようお願いいたします。

令和七年が皆様方にとりまして、幸多き年でありますよう心よりご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

令和七年度

臥風流本部事業計画決定

昨年十二月一日高松市国分寺会館において、臥風流吟詠会本部常任理事会が開催されました。

始めに、徳田寿風会長から挨拶があり、続いて久保田章風事務局長から令和七年度事業計画(案)の説明があり審議が開始、次のとおり決定されました。

令和七年度事業計画

- | | |
|--------------|----------|
| (1) 常任理事会 | 4月12日(土) |
| (2) 段級審査打合せ | 4月12日(土) |
| (3) 段級審査会 | 5月11日(日) |
| (4) 自由吟詠 | 5月24日(土) |
| (5) 師範研修会(1) | 5月24日(土) |

【別記】

◎第43回臥風流吟剣詩舞道大会

- | | |
|--------------------|--------------|
| (6) 役員総会 | 6月1日(日) |
| (7) 自由吟詠 | 7月12日(土) |
| (8) 師範研修会(2) | 7月12日(土) |
| (9) 第43回臥風流吟剣詩舞道大会 | 8月31日(日) |
| (10) 段級別吟詠コンクール | 10月4日(土) |
| (11) 吟士権者決定吟詠大会 | 10月4日(土) |
| (12) 全員研修会 | 11月16日(土) |
| (13) 自由吟詠 | 11月29日(土) |
| (14) 師範研修会(3) | 11月29日(土) |
| (15) 常任理事会 | 12月7日(日) |
| (16) 吟詠発表大会(準師範以上) | 令和8年3月22日(日) |
- 日時 8月31日(日)
- 会場 高松国分寺ホール
- 開催要領
- ① 合吟コンクール
- (5名の部、男女別)
- ② 合吟第一部 自由合吟の部
- ③ 合吟第二部 新準師範 (男・女)
- ④ 90歳以上吟詠
- ⑤ 幼少年構成吟
- ⑥ 式典 主催者挨拶・表彰

(傘寿・米寿・白寿)

⑦ 剣詩舞

⑧ 吟詠 大師範以上の希望者・連吟

⑨ 吟詠 名誉会長・少壮吟士OB

◎全員研修会

日時 11月16日(日)

会場 三木町文化交流プラザ
開催要領

① 特別研修 (徳田寿風会長)

② 令和7年度 (師範合格者)

③ 令和7年度 (段級別コンクール優勝者・吟士権者)

④ 令和7年度 (各種県大会及び
四国・中国・全国大会優秀者)

⑤ 吟詠 (全国大会優勝者)

⑥ 少壮吟士OB吟詠

「日本の誇」

詩碑参拝

会長 徳田 寿風

桜見物の好季節となった晴天の
令和六年四月二日、石清尾八幡神
社に本部事務局長久保田章風氏・
会計部長佐々木政風氏の三人で参

拝いたしました。栗山臥風先生顕
彰碑にお酒をお供えた後、お祓
いをしていただき、「日本の誇」「臥
風流吟詠会詩」を献吟し栗山臥風
宗家への感謝と臥風流の繁栄を祈
りました。

最近は三人での参拝が当たり前
となつていますが各会に案内を出
して何十人もが集まつてお祓い
をしていただき、吟を献吟してい
た時が懐かしく思われました。



左より 徳田寿風会長、佐々木政風会計部長

令和六年度

段級審査結果

年一回の昇段試験となる段級審
査会が、昨年五月十二日に、高松

国分寺ホールと高松市国分寺会館
に於いて開催され、76名が受審。

二級・四段まで六階級で39名、
五段、準師範、師範補、師範の37
名が受審し、63名が合格し、六月
二日の役員総会に於いて、それぞ
れ允許状が渡されました。

各段級別合格者数は、下記のと
おりでした。

入会後初となる二級を受審の7
名は、緊張の中にも堂々と吟じ全
員合格すると共に、成績優秀者2
名は一階級上位の一級が允許され
ました。

また、二級、一級、初段、二段
を受審の内で成績優秀者には、次
のとおりそれぞれ特進が允許され
ました。

【二級受審で一級允許者】 2名

中村廣助(香南町)

奥村美樹(寿風)

【一級受審で初段允許者】 1名

田中悠美子(英風)

【初段受審で二段允許者】 1名

目方恵子(洸風)

【二段受審で三段允許者】 1名

大塚尋江(綾南陶)

【三段合格者雅号付与】

今回、三段に合格された12名と
特進の1名の方々には、「臥」の
付く雅号が付与されました。また、
師範に合格の7名には「風」の付く
雅号が付与され、指導者としての
地位を確固たるものにされました。

【師範合格者と雅号付与】 7名

西岡くに子・悠風(本山) 田村祐
二・泰風(仏生山) 津下裕美子・裕
風(洸風) 赤松徳子・徳風(相愛)
藤本由紀子・紫風(寿風) 岡本照
子・照風(あゆみ) 井上良一・珀風
(綾南)

令和6年度 臥風流段級審査合格者数

実施日：令和6年5月12日

区分	申込者	欠席者	実受審者	合格者	合格率(%)	特進者
2級	10	3	7	7	100.0	2
1級	1	0	1	1	100.0	1
初段	5	0	5	5	100.0	1
二段	2	1	1	1	100.0	1
三段	14	0	14	12	85.7	
四段	11	0	11	9	81.8	
五段	10	0	10	7	70.0	
準師範	8	0	8	7	87.5	
師範補	10	2	8	7	87.5	
師範	12	1	11	7	63.6	
合計	83	7	76	63	82.7	5

〔過去10年間の実績〕

年 度	申込者	欠席者	実受審者	合格者	合格率(%)	特進者
5年度	95	7	88	66	75.0	5
4年度	114	8	106	85	80.2	5
3年度	132	16	116	89	76.7	6
2年度	172	0	172	172	100.0	0
元年度	179	13	166	134	80.7	10
30年度	192	10	182	146	80.2	10
29年度	216	12	204	169	82.8	12
28年度	225	16	209	177	84.7	12
27年度	265	19	246	204	82.9	14
26年度	282	18	264	218	82.6	17

臥風流吟詠会
本部役員総会開催す

昨年六月二日、高松市内マリンパレスさぬき2階瀬戸の間に於いて、102名の役員中、25名の委任状、77名が出席して盛大に開催されました。

午前十時開会宣言の後徳田寿風会長の挨拶があり、議長団に定國伯風(英風) 玉木浩風(長尾) 両氏を選出し議事が進められました。



玉木 浩風 定國 伯風
議長団の選出



徳田寿風会長
挨拶

第一号議案に、令和五年度事業報告が上程され、久保田章風事務局長より各種事業の報告が行われました。

第二号議案に、令和五年度会計決算報告が上程され、佐々木政風会計部長より収支報告が詳細に行われました。(別表四頁)

その後、大路幸風、樋口徳風監事より会計監査報告があり、その内容は全て適正である。と報告されました。

第三号議案は、令和六年度事業計

画案が事務局より提案されました。

- (1) 常任理事会 4月13日(土)
- (2) 段級審査打合せ 4月13日(土)
- (3) 段級審査会 5月12日(日)
- (4) 自由吟詠 5月25日(土)
- (5) 師範研修会(1) 5月25日(土)
- (6) 役員総会 6月2日(日)
- (7) 自由吟詠 7月15日(日)
- (8) 師範研修会(2) 7月15日(日)
- (9) 創流65周年記念 令和6年度 7月15日(日)
- 第42回臥風流吟剣詩舞道大会 9月1日(日)
- (10) 段級別吟詠コンクール 10月12日(土)
- (11) 吟士権者決定吟詠大会 10月12日(土)
- (12) 全員研修会 10月26日(土)
- (13) 常任理事会 12月1日(日)
- (14) 自由吟詠 12月8日(日)
- (15) 師範研修会(3) 12月8日(日)
- (16) 吟詠発表大会【準師範以上】 令和7年3月23日(日)

◎本部関連事業

① 郊外研修会 各ブロック別に実施
引き続き、第四号議案の予算案(別表四頁)が会計部長から提案され承認されました。

第五号議案では臥風流吟詠会本部規約の一部改正案が提案され、役員の任期が改正されました。

第六号議案では役員改選(別表

五頁)、第七号議案その他では
(1) 脱会

No.33 母神吟詠会

5・7・31付(石川司朗)

No.77 草風吟詠会

5・8・2付(久保早苗)

No.3 高松吟和会

5・10・15付(木村忠志)

No.56 常盤吟詠会

6・1・31付(寺尾琳子)

No.1 金蘭吟詠会

6・2・29付(三笠輝彦)

No.34 綾歌吟詠会

6・2・29付(北山幸義)

復帰 No.19 瑞鳳会

6・4・1付(奈良正雄)

(2) 会員の推移
五年度は389名、43名の減少。

(3) 臥風流ホームページ
アクセスログ日別(平成30年10

月22日) 令和6年3月31日)

訪問者 5,609

訪問数 7,028

ページビュー数 20,736

問合せ数 1

最後に徳田寿風臥風流会長より閉会の挨拶があり役員総会が終了しました。

令和5年度会計報告書

自 令和5年4月1日～至 令和6年3月31日

単位:円

収 入 の 部			支 出 の 部		
令和5年度各大会会場費他費用 仮払戻入		442,334	令和5年度段級審査会受審料 仮受払出		299,000
本部会費 (一般) 389名		1,167,000	段 級 審 査 会 費		165,383
準師範以上会費 (特別) 309名		1,545,000	全 員 研 修 会 費		484,497
入会金		3,000	役 員 総 会 費		132,406
教本収益金		468,000	吟剣詩舞道大会費		179,165
允許料		1,132,800	段級別 コンクール費		42,757
預金利子		142	吟士権者決定大会費		112,868
香川県総連より用品使用料等		43,800	吟詠発表大会費	△	151,211
令和6年度段級審査会 受審料仮受		236,000	師範研修会費		365,377
			同 好 会 活 動 費		6,600
小 計		5,038,076	常任理事会・執行部会費		35,260
前 年 度 繰 越 金		6,765,184	役員名簿印刷費		206,800
合 計		11,803,260	臥風流だより発行費		330,000
			広 報 費		161,200
			幼少年活動費		46,107
			令和6年度版教本発行費		258,860
			各種通知文等印刷費		85,800
			慶 弔 費		52,000
			コロナ対策費		103,232
			本部運営費		1,211,069
			・事務所 家賃		(427,260)
			・事務所 コピー機維持費		(195,068)
			・事務所 雑費		(156,339)
			・事務局活動費 (会長・事務局長・会計部長)		(280,000)
			・通信・郵送料		(152,402)
			石川県能登半島地震災害に対する義援金		200,000
			令和6年度 各大会会場費他 費用仮払		400,163
小 計			小 計		4,727,333
前 年 度 繰 越 金			次 年 度 繰 越 金		7,075,927
合 計			合 計		11,803,260

令和6年度会計予算書

自 令和6年4月1日～至 令和7年3月31日

単位:千円

収 入 の 部			支 出 の 部		
令和6年度大会会場費他 仮払戻入		401	令和6年度段級審査会受審料 仮受払出		236
本部会費 (一般) 360名		1,080	段級審査会費		190
準師範以上会費 (特別) 300名		1,500	全員研修会費		150
令和7年度版教本 収益金		460	役員総会費		150
允許料		500	吟剣詩舞道大会費		800
預金利子		1	段級別コンクール費		40
香川県総連より用品使用料等		50	吟士権者決定大会費		100
令和7年度段級審査会 受審料仮受		300	吟詠発表大会費		1
			準師研修会費		450
小 計		4,292	常任理事会・執行部会費		40
前 年 度 繰 越 金		7,076	役員名簿印刷費		200
合 計		11,368	臥風流だより発行費		350
			広報費		200
			幼少年活動費		80
			令和7年度版教本 発行費		250
			各種通知文等印刷費		100
			慶弔費		100
			コロナ対策費		100
			本部運営費		1,308
			・事務所 家賃		(428)
			・事務所 コピー機維持費		(200)
			・事務所 雑費		(200)
			・事務局活動費 (会長・事務局長・会計部長)		(280)
			・通信・郵送料		(200)
			令和7年度 段級審査会他 費用仮払		350
小 計			小 計		5,195
前 年 度 繰 越 金			次 年 度 繰 越 金		6,173
合 計			合 計		11,368

本部役員 (令和6年度改選) [任期: 令和6年4月1日～令和8年3月31日] (赤字は新任者)

名誉会長 宮本 浩風

会 長 徳田 寿風

元 老 松下 真風 水鳥 翔風 南原 孝風

顧問 木村 義雄

副会長 大森 英風 横山 公風 山本 鷲風 松下 功風 須田 鋒風

業務区分	責任者(部長・次長)	常 任 理 事	本 部 理 事
事務局	久保田章風(満濃) 次長 松川 天風(四電) 飯田 将風(春日)	佐々木誠風(寿風) 野田 湘風(本山)	片岡 秀風(寿風) 寺嶋 清風(満濃)
段 級 審 査	香西 広風(三町) 次長 前原 洋風(簡保) 定國 伯風(英風)	山地 修風(三溪) 児島 節風(木太中) 堀合 健風(鶴尾) 小田 孝風(寿風)	山本 錦風(満濃) 増田 海風(綾南) 荒井 晨風(昇風)
コンクール	堀井 勲風(津田) 次長 小竹 勲風(玉藻) 倉元 豊風(志度) 横田 香風(綾南)	山地 信風(山本) 植松 幸風(寿風) 岩田 雅風(桑山) 坂東 恵風(英風)	久保 仁風(玉藻) 森 康風(鷲山) 長谷川喜風(山本)
吟剣詩舞道大会 (記念大会) (新春大会)	松原 綾風(寿風) 次長 安藤 鶴風(鶴風) 山本 貴風(満濃)	尾松 隆風(綾南陶) 橋崎 圭風(飯山) 吉中 緑風(寿風) 鈴木 幹風(寿風) 東原 妃風(寿風)	宮本 舟風(寿風) 喜岡 真風(鶴尾)
研 修	横山 公風(綾南) 次長 [大森 英風](英風) 富田 康風(誠風) 草薙 賢風(寿風)	田中 光風(英風) 中村 江風(石清尾) 大野 香風(国分寺)	蓮井 鶴風(三友) 堀田 賀風(満濃) 住田 春風(英風) 森本 恵風(満濃) 小泉 真風(綾南) 木太 和風(仏生山)
幼 少 年	大森 英風(英風) 次長 藤井 悠風(悠風) 森 賀風(英風)	水鳥 咲風(鶴尾) 廣瀬 恵風(英風) 浜崎 翠風(英風) 青木 純風(孝風)	飯村 明風(英風)
普 及	玉木 浩風(長尾) 次長 鎌田 鵬風(信風)	浅井 延風(寿風) 片山 辰風(英風)	田辺 磊風(あゆみ) 児玉 英風(長尾)
会 計	佐々木政風(牟礼) 次長 三野 春風(牟礼)	山本 萌風(玉藻)	古賀 臥隆(英風)
監 事	大路 幸風(寿風)	樋口 徳風(あゆみ)	
相 談 役	田淵 玖風(豊中) 藤川 美風(悠風) 荒木 法風(寿風)	伊丹 敏風(ちきり) 鍛冶田洗風(四電)	西田 緑風(本山) 大西 昊風(四電)
理 事	矢野 恵風(屋島友) 関 義風(豊中) 三好 昌風(ちきり) 五嶋 臥辰(下笠居) 小山 春風(白鳥) 森石 臥邦(北浦) 橋本 京風(高吟) 大西 良風(鶴尾) 塩崎 健二(国分寺) 池田 武風(仏生山) 大平 葉風(相愛) 寺元 紫風(丹生) 國方 弘風(寒川) 谷本 桃風(飯山) 大森 正風(三観) 奈良 正風(瑞風) 小仙 聰風(鷲山) 高嶋 睦風(睦風) 川田 紅風(香川町) 中筋 信風(大和) 黒川 謙風(香南町) 井上 珀風(陵南) 盛田 青風(青山) 小河 聖風(悠風) 中山 京風(溪風) 廣瀬 寧風(庵治) 鈴木 耿風(大野原)		

臥風流吟詠会本部 審査委員 [任期: 令和6年4月1日～令和8年3月31日]

徳田 寿風(仏生山)	大森 英風(英風)	横山 公風(綾南)	前原 洋風(簡保)	川田 美風(仏生山)	古本 光風(悠風)
堀井 勲風(津田)	安藤 鶴風(鶴風)	香西 広風(三町)	野田 湘風(本山)	山地 修風(三溪)	大野 香風(国分寺)
久保田章風(満濃)	山本 貴風(満濃)	鍛冶田洗風(四電)	児島 節風(木太中)	池田 弘風(四電)	松原 綾風(寿風)
小田 孝風(寿風)	草薙 賢風(寿風)	中村 江風(石清尾)	玉木 浩風(長尾)	山地 信風(山本)	鈴木 幹風(寿風)
田中 光風(英風)	佐々木政風(牟礼)	土岐 晴風(鷲山)	戸田 麗風(鷲山)	東原 妃風(寿風)	

令和六年度 臥風流 全員研修会

昨年十月二十六日(土) 高松国分寺ホールに於いて、臥風流全員研修会が二百十二名の会員が参加し開催されました。

須田鋒風大会副委員長の開会の言葉に続き、国歌斉唱、臥風流吟詠会詩吟詠がありました。



須田鋒風大会副委員長
開会挨拶

続いて徳田寿風会長による「令和七年度臥風流指定吟題集について」の特別研修があり、「美しく明瞭な発声発音について」日常会話で意識して元気よく、声が綺麗で発音が正しく良く判る明瞭な発音の説明がありました。最後に「ワンランク上の吟詠をめざして」言葉を大事に強弱、緩急、明暗、

色彩、情感、声質等、流れて表情を変えて表現することが大切である。難しい内容でありましたが大変勉強になりました。

引き続き徳田寿風大会会長より

挨拶があり、全国合吟コンクール大会が今年度は倉敷で開催され、女性三チームと男性二チームが参加し、来年度は東京の武道館に於いて開催される予定ですので是非参加するよう要望され、最後に草薙賢風氏より、昨日NHKの報道と今朝の四国新聞紙上で徳田寿風大会会長が、県文化功労者で十一月三日に表彰されることが発表されました。おめでとう御座います。その後徳田寿風大会会長より御礼の言葉がありました。

午後の部になり、令和六年度の段級審査会・師範合格者六名の吟から始まりました。



井上 珀風
(綾南)



西岡 悠風
(本山)



田村 泰風
(仏生山)



津下 裕風
(洸風)



岡本 照風
(あゆみ)



赤松 徳風
(相愛)

令和六年度段級別吟詠コンクール(優勝者)三名、令和六年度吟士権者決定吟詠大会(吟士権者)三名、令和六年度各種県大会及び四国・中国・全国大会優秀者(剣舞二名、令和六年度各種県大会及び四国・中国・全国大会優秀者(詩吟)二十五名、令和六年度全国合吟コンクール出場五チーム、全国吟詠コンクール決勝大会(優勝者)三名、最後に徳田寿風大会会長の大変素晴らしい構成吟詠で締めくくりました。



徳田寿風大会会長



吟詠発表大会

(準師範以上)

昨年三月二十四日、高松国分寺ホールに於いて、臥風流吟詠発表大会が行われ、準師範から総範までの会員が参加して、平素の吟詠研鑽の成果を発表しました。



横山公風大会会長
挨拶

まず初めに、横山公風大会会長の開会の言葉の後、国家斉唱、臥風流吟詠会詩吟詠と続き、吟詠第一部準師範・師範補では、十四名の発表がありました。

第二部師範では七十六名の申込に対し、六十名の発表がありました。

第三部大師範・総範では五十五名の申込に対し、四十七名の発表がありました。

九十四歳になった松下真風先生

の力強い吟に感じ入り、来年も先生のお元気な吟を聞きたいと思いました。

徳田寿風臥風流会長より挨拶があり、今年度の全国合吟コンクールと来年度香川県で行われる高校総体の話がありました。
高校生二名の元気な吟の発表がありました。



青木 賢心



橋本 真希

最後に大森英風大会副会長の挨拶で閉会しました。



大森英風大会副会長
閉会挨拶

師範研修会前の

自由吟詠

第一回自由吟詠(五月二十五日)

最初に久保田章風事務局長より、自由吟詠の思考と心構えの挨拶があり六十五名の個人吟詠がありました。



久保田章風事務局長
挨拶

引き続き、十一月十日に開催される全国吟剣詩舞道大会合吟コンクール倉敷に出吟される男性二チーム女性三チーム合計七十五名が徳田寿風会長・大森英風先生の指導のもと練習がありました。

第二回自由吟詠(七月十五日)

師範研修前の午前の空き時間を活用する自由吟詠が定着し、七十五名の申込みがありました。ステージで練習できる事は大変喜ばし

いと多くの方々から賛同の声を頂いています。今回は初心者の方々も多く参加し、普段の練習とは違った緊張感を体験できたという方が多く、これからも吟詠発表の練習の場として益々活用される事を期待しています。

第三回自由吟詠(十二月八日)

丸亀市生涯学習センターにおいて、第三回自由吟詠が開催されました。

今回は五十五名の申込みがあり、多くの方が七年度指定吟題を吟じ、次年度段級審査会や吟詠大会への挑戦意欲が強く感じられました。

今後自由吟詠に多くの方々に参加され、吟詠の楽しさを皆で一緒に共有していきたいものです。

師範研修会開催(一)

令和六年度、第一回師範研修会が五月二十五日(土)に高松国分寺ホールに於いて、会員百十七名の参加で開催されました。

最初に横山公風研修部長が、コロナ感染症が無いと思いがちであるが、身近な所で発生しているの、常時注意して感染対策をして頂きたいとの挨拶がありました。

恒例の年一回の徳田寿風会長と大森英風先生の個別指導で九名の吟詠が発表されました。詩情をよく把握し、登壇する時から態度・気持ちを取り決めて出てくること。吟で闊達、強弱、攻め、激しく、又すつきり、上品、綺麗な声等の出し方で今後より良い吟になる指導がありました。

最後の吟詠実習は来年度の律詩「暮秋雑吟」を徳田寿風会長「月夜荒城の曲を聞く」を大森英風先生の細かく具体的なご指導を受け大変勉強になりました。

師範研修会開催 (二)

昨年七月十五日、第二回目の師範研修会が高松国分寺ホールにて行われました。

最初に横山公風研修部長の挨拶があり、令和七年度指定吟題集よ

り律詩の「長安春望」を横山公風研修部長が、「琵琶湖上の作」と「蜀相」を大森英風研修部次長が指導をされました。



大森英風先生のご指導

その後個人吟詠では十二名が午前の自由吟詠での練習を生かし落ち着いた吟を発表しました。発表後に横山公風研修部長が一人づつ懇切丁寧に、発声や詩文の吟じ方、伴奏にあわせた詠い方、舞台での姿勢など広範囲にわたって解りやすく的確な指導をされていました。個人吟詠をされた方々や会場で指導状況を聞いていた方々にとっても非常に有意義な指導であったと思っています。これからの吟詠発表がますますのしみであります。

師範研修会開催 (三)

昨年十二月八日(日)に丸亀市生涯学習センターに於いて、受講者百八名(内一般参加者十五名)の参加で開催されました。

最初に研修部長の横山公風先生の挨拶で今日は徳田寿風大会会長より、和歌四題と「こぶし」についての研修なので自分で努力して上手になって頂きたいとのことでした。



横山公風研修部長挨拶

引き続き徳田寿風大会会長より教本の和歌、四題の指導説明があり最後に「こぶし」の指導で「こぶし」が無ければ評価は低い。個人差があり、すぐ会得できる人もあるが上手な人の吟を聞いて覚える又、指導者に基本を教えて貰うことも大切である。特に上回しのコ

ツがある。節が終わる前に一つ上げて降りること。節が終わる前に音を出すドシラードシィ(この音を高く)ラに降りる様なことです。大変難しいですが会得すると吟が見違えた様に上達します。今までと違った吟になるようです。

今回も徳田寿風大会会長に高度な指導を頂き全員一段階上手になった気分になり大変参考になりました。



徳田寿風大会会長のご指導

最後に大森英風先生より七名の方の個人指導がありました。アクセント、音階をきちつとする。腹に力を入れて言葉を伝える。音程を正しくタイミングを合わせる。母音の落ち着きを考える。止めをきちつと止めて次の音階に入る。最後まで声を出し届くようにする。以上基本的なことの指導でありますが大変勉強になりました。



大森英風先生の
個人指導



第五十一回 臥風流 段級別コンクール大会

昨年十月十二日、高松市国分寺会館に於いて、幼少年の部、無級から五段までの会員50名が参加して開催されました。この度は無級の部が14名と、近年に無く多くの参加者で賑わいました。
各段級別・年齢区分別入賞者は次の通りです。

【幼・少年の部】

優勝 寺竹 陽菜(英風)
準優勝 飯村 仁(英風)
第三位 青木 奏真(孝風)

入賞 井下妃愛香(孝風)、井下智耀(孝風)、井下煌煌(孝風)、井下尊凱(孝風)、橋本琴音(孝風)

出吟順



第三位
青木 奏真

優勝
寺竹 陽菜

準優勝
飯村 仁

【無級の部】

優勝 藤目 浩二(洸風)
準優勝 宮下 真来枝(寿風)
第三位 濱野 敬子(孝風)
入賞 中村恵子(仏生山)、塩田芳男(香南町)

出吟順

なお、無級の部で宮下真来枝(寿風)、藤目浩二(洸風)、湯井克子(寿風)、中村恵子(仏生山)、塩田芳男

(香南町)、濱野敬子(孝風)、岩原廣彦(寿風)の七名は特進して二級を允許されました。



準優勝
宮下 真来枝

優勝
藤目 浩二

第三位
濱野 敬子

【第一部】(二級～二段69歳以下)

優勝 目方 恵子(洸風)



優勝
目方 恵子

【第二部】(二級～二段70歳以上)

優勝 市原 英俊(寿風)
準優勝 中村 廣助(香南町)

【第三部】(三段～五段69歳以下)

優勝 松尾 祐子(寿風)



優勝
松尾 祐子



準優勝
中村 廣助

優勝
市原 英俊

【第四部】(三段～五段70歳以上)

優勝 山野 緑(あゆみ)
準優勝 井澤 幸恵(寿風)
第三位 山岡 克彰(仏生山)
入賞 山口奉子(白鳥)、大川美和子(満濃)、定國美知子(英風)

出吟順

この度は、優勝という栄えある賞をいただき、私自身とても恐縮し、また大変驚いているところです。私が詩吟を始めたのは、一昨年開催した会社の書道部のグループ展において、鍛冶田先生から徳田寿風先生のありがとうコンサートVのお誘いと詩吟のご紹介をいただいたのがきっかけです。勿論そのときは、詩吟の歌詞(フレーズ)と書道に共通・親和性があること

段級別吟詠コンクール無級級の優勝者のよろこび

藤目 浩二(洸風)



準優勝 井澤 幸恵
優勝 山野 緑
第三位 山岡 克彰



藤目浩二さん

に少しばかりの興味を抱いたくらいで、まさか一年後に詩吟を始めるとは思ってもいませんでした。その後、会社を定年退職したのを機に、何か新しいことにチャレンジしたいと思いつつも、何を始めたら良いのかも分からず、さまたよい続け、最初はほんの軽い気持ちで、それまでご縁のありました鍛冶田先生の門をくぐった次第です。以降月一〜二回、鍛冶田先生から懇切丁寧な指導や、同門の諸先輩方から良い刺激をいただいております。

おなかの底から大きな声を出すことは、非日常的でとても気持ちが良いことだと気付かされました。まだまだ未熟者ですが、少しずつ自分のペースで精進して参りたいと思っておりますので、引き続きご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



準優勝 青木 純子
優勝 横田 聡
第三位 片山 辰夫

【第一部】(69歳以下)
優勝 横田 聡(綾南)
準優勝 青木 純子(孝風)
第三位 片山 辰夫(英風)

昨年十月十二日高松国分寺ホールに於いて準師範以上の会員が82名参加して開催されました。第一部8名、第二部46名第三部28名で競い合いました。

成績は次のとおり

第二十三回 臥風流吟士権者 決定吟詠大会

【第二部】(70〜79歳)

優勝 萱原 美千子(綾南陶)
準優勝 木太 和代(仏生山)
第三位 定國 浩(英風)
入賞 長谷川美喜子(山本)、森博子(英風)、宮本修(寿風)、杉村さよ子(鷺山)、西岡くに子(山本)、今瀧幸子(満濃)、黒川謙司(香南町)、國井陽子(鶴尾)、中山百合子(満濃)、小河聖(悠風)、坂東恵美子(英風)、植松幸子(寿風)、三野波留子(牟礼)

出吟順



準優勝 木太 和代
優勝 萱原 美千子
第三位 定國 浩

【第三部】(80歳以上)

優勝 小竹 勲(玉藻)

準優勝 古川 シズ子(綾南陶)

第三位 鎌田 保(信風)

入賞 米澤都子(石清尾)、池田

武勇(仏生山)、田中啓子(寿風)、

中川利行(相愛)、塩谷捷代(寿

風)、大野利勝(寿風) 出吟順

準優勝
古川 シズ子優勝
小竹 勲第三位
鎌田 保臥風流創流六十五周年記念
第四十二回臥風流
吟剣詩舞道大会

昨年九月一日、臥風流吟剣詩舞道大会が高松国分寺ホールに於いて開催されました。

最初に、開会のことばを須田鋒風大会副委員長がされ、国家斉唱と臥風流吟詠会詩が合吟されました。

須田峰風
大会副委員長

次に自由合吟が始まり十八チームが出吟しました。

次に全国合吟コンクールに出場する女子三チームと男子二チームが出吟しました。

次に九十歳以上の吟詠となりました。

小野臥輝(寿風)、富川扇風(綾南陶)、福家和風(綾南陶)、松下真風(高吟)の方々の吟詠発表がありました。

した。私も九十歳以上になり元気に吟詠発表する事にあやかりたいと切に思いました。

松下 真風
(高松)富川 扇風
(綾南陶)福家 和風
(綾南陶)小野 臥輝
(寿風)

次に、新準師範・新師範補になられた四名の方々の連吟がありました。

古賀 臥隆
(英風)五嶋 臥辰
(下笠居)湊 臥街
(孝風)橋本 臥恵
(孝風)

次に、長寿表彰がありました。

【傘寿の部】(15名)

富田康風(誠風)、大野香風(国分寺)、堀田賀風(満濃)、竹内水風(満濃)、萱原美風(綾南陶)、今龍幸風(満濃)、赤松徳風(相愛)、川田美風(仏生山)、田中光風(英風)、蓮井鶴風(三友)、佐々木誠風(寿風)、鈴木

歌風(大野原)、須田弘風(洸風)、
上野富風(相愛)、中川臥行(相愛)



傘寿代表
富田 康風

【米寿の部】(7名)

水鳥翔風(鶴尾)、貴志早風(玉藻)、奈良正風(瑞鳳)、清原水風(大内丹生)、中山京風(溪風)、盛田青風(青山)、大野敏風(あゆみ)



米寿代表
水鳥 翔風

次に、特別功労者表彰がありました。
鷺山吟詠会 県外で長年にわた
り活躍をされた。



山本 鷺風
(鷺山)

小仙 聰風
(鷺山)

井上喜風 百歳を超えるまで活躍された。



(代理) 荒井 晨風
(昇風)

次に感謝状授与がありました。
青木純風 会員獲得に功績があ
った。



青木 純風
(孝風)

松川天風 コロナ対策に功績があ
った。



松川 天風
(四電)

次に、徳田寿風会長の挨拶があ
りました。

次に、臥風流創流六十五周年の
記録が宮本浩風名誉会長よりスク
リーンで披露されました。
昼食休憩後、大森英風先生作・
構成の幼少年部による構成吟詠
「日本の名山を詠う」が披露され
ました。



橋本 真希



橋本 琴音

臥風流幼少年部

臥風流幼年部



左から 井下 煌惶、井下 尊凱、橋本 真希、井下 知耀、橋本 百恵、橋本 琴音



左から 津田 夏帆、井下 妃愛香、青木 奏真、笠井 柚希、東條 真衣、田中 悠美子、飯村 仁、寺竹 陽菜



東條 真衣



東條 真衣 田中 悠美子



橋本 真希



佐藤 秀彦

佐藤 伸彦



橋本 真希

高橋 知里

東條 真衣



幼少年部全員



左から 笠井 柚希、津田 夏帆、井下 妃愛香、寺竹 陽菜、井下 煌悺、青木 奏真、飯村 仁



青木 賢心

池川 巧



池川 巧

橋本 百恵

次に、同じく大森英風先生作・構成の高校総文祭チームによる構成吟詠「讃岐の風景」伝説の里が披露されました。



左から 橋本 真希、高橋 知里、田中 悠美子、東條 真衣



高校総文祭チーム



堀井 勲

池田 弘隆

東原 恵

佐々木 政彦

次に、剣詩舞・吟詠が十三番ありました。
次に、全国吟詠・剣詩舞コンクール決勝大会出場者の発表がありました。
剣舞幼年の部 橋本琴音(孝風)
剣舞少年の部 橋本真希(孝風)
吟詠一般二部 佐々木政彦(牟礼)、東原恵(寿風)
吟詠一般三部 池田弘隆(四電)、堀井勲(津田)

植松 幸風
(寿風)松原 綾風
(寿風)佐々木 誠風
(寿風)白神 榮風
(鷲山)井上 菖風
(玉藻)

次に、総範・大師範の素晴らしい連吟十八番がありました。

児島 節風
(木太中)鍛冶田 洸風
(四電)奈良 正風
(瑞鳳)古川 静風
(綾南陶)米澤 都風
(石清尾)吉中 緑風
(寿風)

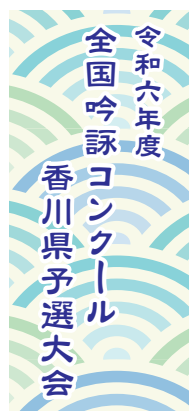
宮武 明風
(本山)野田 湘風
(本山)坂東 恵風
(英風)田中 光風
(英風)橋崎 圭風
(飯山)安藤 鶴風
(鶴風)前原 洋風
(簡保)大森 英風
(英風)香西 広風
(三木)南原 孝風
(下笠居)川田 美風
(仏生山)池田 武風
(仏生山)宮本 浩風
(四電)徳田 寿風
(仏生山)大森 英風
(英風)久保田 章風
(満濃)富田 康風
(誠風)

【少年の部】
優勝 橋本 真希(孝風)
準優勝 青木 賢心(孝風)
第三位 東條 真衣(英風)

佳吟賞 寺竹陽菜(英風)、飯村仁

(英風)、橋本琴音(孝風)

昨年四月二十九日高松国分寺
ホールに香川県下より百八十名が
各流派より集まり盛大に開催され
ました。

大森英風大会委員長
閉会挨拶

最後に大森英風大会委員長の閉
会の言葉で締めくくりました。

【一般二部】
優勝 浦 麻紀(寿風)



第三位 東條 真衣
優勝 橋本 真希
準優勝 青木 賢心



優勝 浦 麻紀

【一般二部】

優勝 東原 恵(寿風)

準優勝 松川 吉伸(四電)

第三位 佐々木 政彦(牟礼)

入賞 児島節(木太中)、植松幸

子(寿風)、松尾祐子(寿風)、廣瀬

恵子(英風)、木太和代(仏生山)

佳吟賞 鍛冶田智育(四電)、藤本由

紀子(寿風)、小泉眞砂子(綾南)、
黒島ひとみ(三観)、玉木一浩(長
尾)、藤田美貴子(鶴風) 出吟順



第三位 佐々木 政彦
優勝 東原 恵
準優勝 松川 吉伸

【一般三部】

準優勝 安藤 智津子(鶴風)

入賞 池田弘隆(四電)、堀井勲

(津田)、定國浩(英風)、鈴木幹男

(寿風)、玉川壽美子(志度、古川

シズ子(綾南陶)、小田孝子(寿風、

山本初子(満濃)、塩谷捷代(寿風、

小竹勲(玉藻)、田中加代子(英

風)、細川節子(志度) 出吟順

佳吟賞 浅井能延(寿風)、坂東恵

美子(英風)、久保仁(玉藻)、萱

原美千子(綾南陶)、樋口徳子(あ

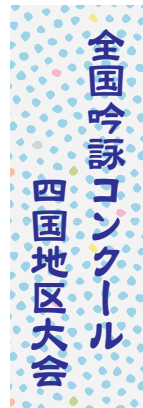
ゆみ)、小河聖(悠風)、竹内マチ

子(満濃)、浜崎清美(英風)、西岡



準優勝 安藤 智津子

くに子(本山)、森博子(英風)、森
啓子(綾南) 出吟順



昨年六月三十日徳島県藍住町総
合文化ホールに於いて開催されま
した。

(○印が全国吟詠コンクール出場

【一般一部】

佳吟賞 浦 麻紀(寿風)

【一般二部】

第二位 東原 恵(寿風)

入賞 佐々木政彦(牟礼)

佳吟賞 植松幸子(寿風)、児島節

(木太中)、廣瀬恵子(英風)

出吟順

【一般三部】

入賞 池田弘隆(四電)、○堀井

勲(津田)

佳吟賞 小竹勲(玉藻)、定國浩英
風)、田中加代子(英風)、玉川壽
美子(志度)、山本初子(満濃)

出吟順



昨年九月十六日、東京日本教育
会館・一ツ橋ホールに於いて臥風
流から四名が参加され池田弘隆さ
んが五位に入賞しました。

【一般三部】

第五位 池田 弘隆(四電)

令和六年度

全国剣詩舞コンクール
香川県予選大会

昨年五月十九日高松国分寺ホ
ールに於いて、香川県予選大会が開
催された。臥風流会員も多数出演
し、特に昨年同様幼年・少年の部
の活躍が目立ちました。

【剣舞・幼年の部】

優勝 橋本 琴音(孝風)

準優勝 井下 智耀(孝風)

優勝 青木 純子(孝風)



第三位 橋本 真希
優勝 橋本 百恵
準優勝 池川 巧

優勝 橋本 百恵(孝風)
準優勝 池川 巧(孝風)
第三位 橋本 真希(孝風)



優勝 橋本 琴音
準優勝 井下 智耀

昨年七月七日、高知県民文化ホールに於いて、四国地区大会が

令和六年度
全国剣詩舞コンクール
四国地区大会



第三位 定國 美知子
優勝 山地 花枝
準優勝 井上 良一

優勝 山地 花枝(三溪)
準優勝 井上 良一(綾南)
第三位 定國 美知子(英風)



優勝 青木 純子

優勝 小田 孝子(寿風)

なお、入賞者(○印の六名)は、十月二十七日徳島県・藍住町総合文化センターで開催する四国選手権大会に出場します。

昨年七月二十七日、三豊市市民交流センターに、東・中・西讃連盟での予選を勝ちぬかれた百二十一名が参加して県吟詠剣詩舞選手権大会が行われ、各部門の入賞者が決定しました。

令和六年度 香川県 吟詠剣詩舞選手権大会

準優勝 山地 花枝(三溪)

優勝 橋本 真希(孝風)
準優勝 橋本 百恵(孝風)
優勝 青木 純子(孝風)

優勝 橋本 琴音(孝風)
第三位 井下 智耀(孝風)
優勝 山地 花枝(三溪)

開催されました。



第三位 山本 初子



優勝 小田 孝子
準優勝 鈴木 幹男

準優勝○鈴木 幹男(寿風)
第三位 山本 初子(満濃)
佳吟賞 小竹勲(玉藻)、玉川壽美子志度、須田邦夫(四電)、山本貴子(満濃)、細川節子(志度)、定國浩(英風)、久保仁(玉藻)、坂東恵美子(英風)、大野利勝(寿風)、藤井チナコ(悠風)、岩田雅芳(桑山)、村主房子(寿風)、長谷川美喜子(山本)
出吟順

【剣舞の部】

優勝 ○井上 良一(綾南)
準優勝 ○青木 純子(孝風)



優勝 井上 良一
準優勝 青木 純子

【吟詠一部】(74歳以下)

優勝 ○松川 吉伸(四電)
準優勝 ○松尾 祐子(寿風)
佳吟賞 植松幸子(寿風)、小泉眞砂子(綾南)、木太和代(仏生山)、藤本由紀子(寿風)
出吟順



優勝 松川 吉伸
準優勝 松尾 祐子

第61回 四国吟詠剣詩舞
選手権大会

昨年十月二十七日、徳島県藍住町総合文化センターに於いて四国吟詠剣詩舞選手権大会が行われ、臥風流会員の成績は次のとおりでした。

【吟詠の部】

入賞 松川吉伸(四電)、松尾祐子(寿風)
出吟順

かがわ文化芸術祭二〇二四
高松文芸協会玉藻まつり
吟剣詩舞道大会

昨年十一月十七日、さぬき市長尾公民館に於いて玉藻祭りが盛大に開催されました。

今回は長尾公民館新築仕立ての新しい会場での大会はとても新鮮で大変良い大会でした。

臥風流会員の成績は次のとおりでした。

【第一部】(69歳以下)

優勝 (高松市長賞)
松尾 祐子(寿風)

準優勝 (高松市議会議長賞)

浦 麻紀(寿風)

入賞 濱野敬子(孝風)、児玉英雄(長尾)
出吟順



準優勝 浦 麻紀
優勝 松尾 祐子

【第二部】(70歳以上)

優勝 (香川県知事賞)

佐々木 政彦(牟礼)

準優勝 (香川県議会議長賞)

木太 和代(仏生山)

第三位 (香川県教育長賞)

廣瀬 恵子(英風)

入賞 鍛冶田智育(四電)、坂東恵美子(英風)、定國浩(英風)、宮本修寿風、植松幸子(寿風)、森博子(英風)、國井陽子(鶴尾)、小河聖悠風、浜崎清美(英風)、鎌田保(信風)、池田武勇(仏生)

山)、定國美知子(英風)、黒川謙司(香南)、住田春美(英風)、山野緑(あゆみ)
出吟順



優勝 佐々木 政彦
第三位 廣瀬 恵子



準優勝 木太 和代

日本コロムビア
全国吟詠コンクール
香川地区予選大会

昨年九月二十九日、高松市のホテルマリンパレスさぬきに於いて

て、第六十回香川地区予選大会が開催されました。毎年のように出吟者の減少が続き、今年も開催が危ぶまれておりました。ところが本年は幼少年を含め、百三名の申し込みを頂きました。ほんとうに感謝、喜んでおります。久しぶりに第一部から第五部迄全てに出場者有りとりました。

審査員に日本コロムビア常任理事・石橋穂浩先生(福井) 同常任理事・村松勢心先生(静岡) 理事・巽吟城先生(大阪)をお迎えして三名の香川県代表者の方を選出して頂きました。入賞者は次の通りです。

(○印は全国決戦大会出場者)

【第一部】(一般の部中学生まで)

優勝 寺竹 陽菜(英風)

入賞 橋本琴音(孝風)、井下智耀(孝風)、青木奏真(孝風)



優勝
寺竹 陽菜

出吟順

【第二部】(一般の部16歳～50歳)

優勝 橋本 百恵(孝風)

入賞 青木 賢心(孝風)



優勝
橋本 百恵

【第三部】(一般の部51歳～75歳)

優勝 ○松尾 祐子(寿風)

準優勝 鍛冶田 智育(四電)

第三位 青木 純子(孝風)

敢闘賞 松川 吉伸(四電)

入賞 片山辰夫(英風)、藤本由紀子(寿風)、大塚尋江(綾南陶)、宮本修(寿風)、濱野敬子(孝風)、横田聡(綾南)、大西博子(本山)、横倉政代(あゆみ)、黒島ひとみ(三観)、木太和代(仏生山)、植松幸子(寿風)



優勝
松尾 祐子

出吟順

【第四部】(一般の部76歳以上)

優勝 ○村主 房子(寿風)

準優勝 ○玉川 壽美子(志度)

第三位 樋口 徳子(あゆみ)

敢闘賞 古川 シズ子(綾南陶)

入賞 吉中良子(寿風)、西岡くに子(本山)、浅井能延(寿風)、田中加代子(英風)、寺嶋清枝(満濃)、橋崎圭子(飯山)、小河聖(悠風)、塩谷捷代(寿風)、萱原美千子(綾南陶)、鎌田保(信風)、柏野和美(綾南陶)



第三位
青木 純子



準優勝
鍛冶田 智育

出吟順

優勝
村主 房子

【第五部】(短歌・俳句・新体詩の部)

優勝 鍛冶田 智育(四電)

入賞 樋口 裕子(あゆみ)



優勝
鍛冶田 智育



第三位
樋口 徳子



準優勝
玉川 壽美子

何処の大会も出吟者の減少に悩む現状です。コロムビアはあまり難しい規定もございません。多くの方に吟を楽しんでいただきたいと願っております。一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

香川県事務局 安藤 鶴風

昨年十二月八日、茨城県水戸市民会館においてコロムビア全国名流大会が催されました。香川県代表として臥風流三名の方が参加されました。

今回は臥風流の皆様の良い報告が出来ます。四部の村主房子(寿風)さん・玉川壽美子(志度)さん

日本コロムビア 全国吟詠コンクール 決勝大会



左より 巽吟城先生、村松勢心先生、玉川壽美子さん、村主房子さん、松尾祐子さん、石橋穂浩先生

が揃って入賞されました。落ち着いて朗々と会場に響く臥風流の節調に聞き入っていました。

午後からは、各地区ブロック毎に構成吟詠「光源氏の物語り・吟詠で綴る」があり六十周年との事で私も歌謡吟詠に参加しました。

水戸は寒いと聞いていましたが風も無く晴天に恵まれ、九日は四人で弘道館、偕楽園等観光して帰りました。

来年は大阪のクレオ大阪中央で全国大会が行われます。香川予選大会も九月二十八日を予定していますので皆様の多数のご参加をお待ちしております。

第五十四回 全国吟剣詩舞道大会

昨年十一月十日倉敷市民会館にて開催されました。全国より六十チームが合吟日本一を競い、臥風流からは、男子二チーム・女子三チームが出場しました。

入賞 臥風流吟詠会本部男子A
臥風流吟詠会本部男子B
臥風流吟詠会本部女子A

東讃地区だより

通信員 定國 伯風

●東讃連盟吟詠コンクール大会

東讃連盟の五年度最後の大会として令和六年二月十八日(日)に国分寺ホールにおいて百五名が参加して開催されました。

【第一部】(49歳まで)

参加者なし

【第二部】(50歳～69歳まで)

優勝 山本 郁代(玉藻)

第三位 小泉 眞砂子(綾南)

入賞 片山辰夫(英風)、横田聡

(綾南)、木太和代(仏生山)

出吟順



第三位 小泉 眞砂子

優勝 山本 郁代

優勝 鍛冶田 智育(四電)

【第三部】(70歳～79歳まで)

準優勝 萱原 美千子(綾南陶)

第三位 小田 孝子(寿風)

入賞 廣瀬恵子(英風)、植松幸子(寿風)、中山百合子(満濃)、定國美知子(英風)、森啓子(綾南)、古賀良隆(英風)、溝川鈴子(孝風)、森博子(英風)、細川節子(志度)、川田道子(寿風)、定國浩(英風)、三野波留子(牟礼)、山本初子(満濃)、浜崎清美(英風)

出吟順



第三位 小田 孝子

優勝 鍛冶田 智育

準優勝 萱原 美千子

優勝 鈴木 幹男(寿風)

準優勝 藤井 チナコ(悠風)

第三位 古川 シズ子(綾南陶)

入賞 村主房子(寿風)、小竹勲

(玉藻)、米澤都子(石清尾)、柏野和美(綾南陶)、尾崎修(寿風)、高橋玉枝(満濃)、堀川武夫(英風)、園田公子(寿風) 出吟順



第三位 古川 シズ子 優勝 鈴木 幹男 準優勝 藤井 チナコ

●香川県吟詠選手権東讃予選大会

六年六月十六日(日)に国分寺ホールにおいて九十二名が参加して、県大会を目指して熱吟が繰り広げられました。入賞者の県大会出吟が決定しました。

【第一部】(74歳以下)

優勝 浦 麻紀(寿風)
準優勝 松川 吉伸(四電)
第三位 佐々木 政彦(牟礼)
入賞 藤本由紀子(寿風)、青木純子(孝風)、松尾祐子(寿風)、横

田聡(綾南)、木太和代(仏生山)、片山辰夫(英風)、横倉政代(あゆみ)、小泉眞砂子(綾南)、五嶋辰男(下笠居)、中山百合子(満濃)、廣瀬恵子(英風)、上原孝子(仏生山)、山野緑(あゆみ)、宮本修(寿風) 出吟順



第三位 佐々木 政彦 優勝 浦 麻紀 準優勝 松川 吉伸

【第二部】(75歳以上)

優勝 鈴木 幹男(寿風)
準優勝 小田 孝子(寿風)
第三位 堀井 勲(津田)
入賞 玉川壽美子(志度)、池田武勇(仏生山)、坂東恵美子(英風)、今瀧幸子(満濃)、三野波留子(牟礼)、古賀良隆(英風)、山本初子(満濃)、鎌田保(信風)、定

國浩(英風)、米澤都子(石清尾)、山本貴子(満濃)、小河聖(悠風)、久保仁(玉藻)、堀田千賀子(満濃)、竹本富子(簡保)、大野利勝(寿風)、北原順子(信風)、納田恭子(英風)、河合博一(寿風)、藤井チナコ(悠風)、細川節子(志度)、森啓子(綾南)、村主房子(寿風)、須田邦夫(四電)、小竹勲(玉藻)、浜崎清美(英風)、溝川鈴子(孝風)、國井陽子(鶴尾) 出吟順



第三位 堀井 勲 優勝 鈴木 幹男 準優勝 小田 孝子

●東讃連盟寿大学吟剣詩舞道大会

六年八月十八日(日)、猛暑の中、国分寺ホールにおいて百十四名が参加して開催されました。今年度から内容を吟詠コンクールの

部、吟詠発表の部、剣詩舞発表の部に再編成してより多くの皆様が多様な形で出演頂けるよう見直されました。

【吟詠・第一部】(79歳以下)

優勝 玉川 壽美子(志度)
準優勝 小泉 眞砂子(綾南)
第三位 宮本 修(寿風)
入賞 植松幸子(寿風)、上原孝子(仏生山)、廣瀬恵子(英風)、今瀧幸子(満濃)、小河聖(悠風)、定國浩(英風)、山野緑(あゆみ)、細川節子(志度)、坂東恵美子(英風)、三野波留子(牟礼)、立川正史(寿風)、横田聡(綾南)、青木純子(孝風)、川田道子(寿風)、森博子(英風)、萱原美千子(綾南陶) 出吟順



準優勝 小泉 眞砂子 優勝 玉川 壽美子 第三位 宮本 修

【吟詠・第二部】(80歳以上)

優勝 柏野 和美(綾南陶)

準優勝 小竹 勲(玉藻)

第三位 藤川 美代子(悠風)

入賞 鎌田保(信風)、大野利勝

(寿風)、米澤都子(石清尾)、竹

内マチ子(満濃)、庵原修(孝風)、

堀田千賀子(満濃)、竹本富子(簡

保) 出吟順

準優勝
小竹 勲優勝
柏野 和美第三位
藤川 美代子

中讃地区だより

通信員 飯田 將風

●第二十回 中讃班郊外研修会

四月二十日 今年は、綾川町吟

詠連絡協議会(綾南吟詠会・綾南

陶吟詠会)のお世話で開催されま

した。

二段から師範まで十名が挑戦し、吟声・態度など合格への意識は高く、充実した研修会でした。

その後、指導者(師範、大師範・総範)四十三名と剣詩舞など十三名の模範吟詠と詩舞の六十六名の参加がありました。

最後に、横山公風先生から受審者への激励と参加者への御礼で閉会しました。

●第十一回

中讃連盟吟士権者決定大会・

一般交流吟剣詩舞道大会

五月二十六日 坂出市勤労福祉

センターにて開催。

年々、会員が減少する中、審査

吟詠三十五名・交流吟詠二十三

名・前年度優勝者吟詠三名・交流

少年吟詠五名そして交流少年・一

般剣詩舞二十名の合計八十六名の参加を得て、開催することができました。

交流少年合舞 東京ブギウギ
水心黎明流 善通会

なお、臥風流会員の成績は

【第二部】(70歳〜79歳まで)

入賞 荒井 進(昇風)

【第三部】(80歳以上)

入賞 大野 忠由(昇風)

の二名でした。

本大会は、緊張感あり、少年の

交流剣詩舞など、心の和む場面も

あり、楽しい一日でした。

●令和六年度

香川県吟詠選手権中讃地区

予選吟詠大会

六月九日 坂出市勤労福祉セン

ターにて開催。

吟剣詩舞会員が減少する流れの中、中讃連盟も同じく、そして、臥風流会員も御多分に漏れず、高齢化・健康障害・家族事情などで出場者が減っています。

コンクール出場者は、一部・二部合わせて二十七名が参加して熱戦が展開されました。

臥風流会員の成績は

【第二部】(75歳以上)

入賞 荒井 進(昇風)

なお、入賞者は、七月二十七日

三豊市民交流センターで開催され

る香川県吟詠剣詩舞選手権大会に

出場します。

●第十四回 中讃連盟

吟詠詩舞道祭

八月二十一日 坂出市民ホール

にて開催。

本大会は、中讃連盟の全会員が

楽しみにしており、県下に熱中症

アラートが発表されている中、体

調に気を配り実施しました。

プログラムは例年どおり吟(独吟・合吟)・舞(剣舞・詩舞)と歌謡吟詠など幼少年も各々出場し、満2歳の合吟(3名)は大変好評でした。最後にゲストの大森英風先生と徳田寿風会長の構成吟詠で盛り上げて頂き閉会しました。



合吟 九月十日
山口希藍ちゃん、大谷ここちゃん、山口瑠藍ちゃん

なお、徳田寿風会長の挨拶の中で、折角の盛沢山な大会に観客が少ないのは寂しいので詩吟を知らない一般客へのPRを工夫して欲しいとの要望がありました。

西讃地区だより

通信員 安藤 鶴風

四月六日 西讃連盟総会を三豊改善センターにて開催。理事長以下執行部満了改選。

四月十四日 第一回西讃連盟詩舞

道大会、本年より優賞大会を廃止、替わるものとして始まりました。

午前の部は75歳以上、以下で分け審査をします。上位三名を表彰。

午後は自由吟で、合吟、独吟、剣詩舞他自由参加です。審査の結果、



徳田寿風会長



大森英風先生

【76歳以上の部】

第三位 鈴木 サツキ(鶴風)



第三位
鈴木 サツキ

【75歳以下の部】

優勝 黒島 ひとみ(三観)



優勝
黒島 ひとみ

本)、黒島ひとみ(三観)、藤田美貴子(鶴風)
以上九名が香川県大会に駒を進めます。
八月十一日 徳田寿風会長特別研修会、観音寺市民会館小ホールにて今回初めて徳田寿風会長をお招きして多くの人達に吟詠の素晴らしさを知って頂き親しんで貰いたいと開催しました。県内からもバスで来て下さる所も有り、会場に入りきれない方も出る程の盛況でした。一般の方々の「素晴らしい舞台だった」、「詩吟は初めて聞いたが感動した!」との声を頂きました。



徳田寿風会長

十一月三日 観音寺、三豊地区、

各地区で文化祭に参加。

十一月十六日 西讃連盟吟剣詩舞

道祭 三豊交流センター

毎年、年の納めに行われる吟剣詩舞道祭が今年も独吟、合吟、律

詩、歌謡吟詠、剣詩舞が流派を越えて楽しく開催されました。ただ、皆様が楽しみにしております恒例のご来賓吟詠が、日頃ご多忙なお二人の先生方の諸事情と重なり、大森先生は欠席、徳田会長のみご出席下さいましたが午前中のみで退席という慌ただしさ。それでも徳田寿風会長の構成吟「風雲川中島」は圧巻で、会場咳一つ無く聞き入っております。来年はぜひお二人の先生方には西讃へお越し下さいますようお願いしております。

倉敷地区だより

通信員 植田 善風

二月十八日 倉敷市児島公民館祭へ八名が出吟。

三月十二日 倉敷市児島民主会館祭へ五名が出吟。

三月二十四日 臥風流吟詠発表大会に三名のところ高齢の一人が急に体調を崩し二名のみ出吟となりました。その際徳田寿風先生よりご丁寧なお見舞いの電話が当人宛にあり感謝感激です。

三月二十四日 愛国詩吟総連盟西部地区予選へ四名が出吟、全員通過岡山県大会に臨む。

四月二十一日 鷺山吟詠会総会を開催十七名が参加。春望に五人が挑戦し持ち味を競う等ユニークなプログラムも有って盛況でした。



鷺山吟詠会一同

五月十二日 臥風流段級審査会三段へ二名が挑戦したが合格者は入江智子一名となりました。

五月十九日 日本吟剣詩舞振興会

全国吟詠コンクール岡山県大会へ五名が出吟一般二部杉村さよ子準優勝、一般三部片山清人五位、同三部植田善生十四位となりました。



準優勝
杉村 さよ子

五月二十五日 第一回臥風流自由吟詠、師範研修会。研修会へ三名が参加。細かなご指導を種々拝聴して大変勉強になりました。

六月二日 愛国詩吟総連盟岡山県大会へ四名出吟 競吟シニア部片山清人三位。同森康高入賞。競吟第一部杉村さよ子入賞となりました。

七月十五日 第二回臥風流自由吟詠、師範研修会。師範研修へ三名参加、律詩が主で吟の流れが勉強になりました。

七月二十一日 愛国詩吟総連盟決勝大会一名出場入賞でございました。

七月二十一日 日本吟剣詩舞振興会全国吟詠コンクール中国地区大会、二名出場のところ一名が病

欠。残る一名は和装で奮闘するも入賞できませんでした。

七月二十一日 日本伝統文化吟友会全国吟詠コンクール中国地区大会へ六名が出場のところ一名病欠。短歌の部で片山清人二位。杉村さよ子短歌の部及び一般三部で入賞。一般四部森康高入賞。

九月一日 臥風流六十五周年記念大会で、私たち鷺山吟詠会が長年香川県外での活躍があったと、特別功勞の表彰並びに金一封を受領、一同感動し感謝感激、改めて一層の精進を誓いました。



特別功勞賞を受ける

九月四日 本荘公民館教室へ倉敷ケーブルテレビ「あっぱれ」の取

材クルーが来館、取材を受け臥風流の良さを強調し全員で合吟。

十月十二日 臥風流吟士権決定吟詠大会へ五名出吟予定のところ二名が病欠、残る三名が出吟したが第二部で杉村さよ子入賞のみとなりました。

十一月三日 鷺山吟詠会文化祭視聴者(観客)が少なく今一つ盛り上がりには欠けました。

十一月十日 岡山県倉敷市民会館で公益財団法人日本吟剣詩舞振興会主催第五十四回全国吟詠詩舞道大会が盛大に開催され岡山県連は全面的にお手伝いをし、鷺山からも六名が参加。資材管理、音響、受付等で活躍しました。(観客は全員が日本伝統文化の良さに惹かれ陶醉し時の経つのを忘れました。)

十二月二十二日 倉敷市文化祭中心行事第三十二回吟剣詩舞道祭に病欠を除き九名が参加し一年の成果を発表しました。

現在会員数が減少、イベント、コンクールへの不参加、急な欠場等多々あり残念な状況です。吟道を学ぶ同志の退会は本当に胸が痛む、なれど、鷺山は健在なります。

全国高等学校総合文化祭 吟詠剣詩舞部門 プレ大会

昨年十二月十五日三木町文化交流プラザ メタホールに於いて、令和七年七月二十七日に同じ会場で開催される第四十九回全国高等学校総合文化祭香川県大会に向けて、高知県・徳島県で取り組んでいる仲間を招き、本番同様に高校生が中心となつて行い、試験的に運営する発表会として吟詠剣詩舞部門のプレ大会が行われました。

「讃岐に咲くは才の花たち」と題して徳島より、県立脇町・県立徳島中央・県立城南・県立名西の四高等学校による徳島県高等学校文化連盟吟詠剣詩舞部会による構成吟「渭山城く阿波の殿様蜂須賀公」を八人で習字と構成吟で熱演。高知からは明德義塾高等学校による和歌「晴れてよし」と「富士山」を中国の生徒を含む五人で合吟。香川は県立高松西・県立高松南・県立高松・県立善通寺第一・高松中央の五高等学校の合同チームによって、構成吟「讃岐の

風景・伝説(いいたえ)の里」を九人で熱演しました。



香川県合同チーム

最後に大森英風香川県吟剣詩舞道総連盟副理事長より全ての演舞に高校生のパワー・エネルギーを頂き、日本古来の伝統芸能を慈しみ未来に伝える事を願いますとの講評がありました。



大森英風香川県吟剣詩舞道
総連盟副理事長

作詩と吟詠の楽しみ

小田 孝子

昨年十月五日、旧善通寺偕行社(国の重要文化財)に於いて、第二十二回四国漢詩連盟香川大会が開催されました。四国四県から七言絶句、百五十五首の応募が有り、その中から特別賞・優秀賞等が選ばれました。表彰式、記念講演に続いて皆さんお待ちかねの特別賞作品の吟詠発表がありました。

臥風流からは、徳田寿風会長・大森英風副会長、他三名、他流からは四名の吟士に依って作品が披露されました。会場は厳かで、雰囲気も良く吟士の方々の華麗なる美声と相俟って最高の一日となり、参加の方々には充分魅了された事を確信いたしました。

さて、江戸後期から明治にかけて隆盛を極めた漢詩の世界も、文明の変遷と共に衰退の一途を辿る事となります。

平成九年、初めて全国漢詩大会が香川県で開催され、後に漢詩再興の地と言われる様になりました。その香川での次回開催の節は是非とも参加し、漢詩を作り、吟じての楽しみを堪能して下さい。お待ちしております。

徳田寿風先生 「高松市市政功労者」 「香川県文化功労者」表彰

松原 綾風

令和六年二月十五日高松市庁舎において高松市市政功労者表彰式

に続き、十一月三十日十時より香川県庁本館二十一階第一特別会議室において香川県文化功労者表彰式が執り行われました。

開式を待つ静寂の五分間は異常に長く、張りつめた緊張感の中、最初に「文化功労者 徳田寿風さん」と呼ばれると「はい」の声 が式場内に響き、菊花模様の正装で池田豊人香川県知事の前に進み出る徳田寿風先生。凛とした立居振舞いに吟剣詩舞道の精神を感じました。

漆芸家や声楽家の受賞が多い香川県に於いて吟詠家である徳田寿風先生の文化功労者受賞の意義は大きく、臥風流吟詠会本部会員としてもこの上ない慶びです。

徳田寿風先生、このたびは誠にめでとうございました。

*令和六年度香川県文化功労者は二名。他の一名は千葉県在住の漆芸家。



徳田寿風先生

令和六年度新春錬成大会 盛大に開催される

令和七年一月十一日、高松国分寺ホールに於いて、香川県吟剣詩舞道総連盟主催の新春錬成大会が吟剣詩舞愛好家二百五十名余りの参加で盛大に開催されました。

最初に香川県吟剣詩舞道総連盟横山公風会長の開会の挨拶があり、徳田寿風先生の詩吟によつての文化功労者受賞は過去に無く誇りであり、誉れであるとのことのお祝いのことばが述べられました。



香川県吟剣詩舞道総連盟
横山公風会長挨拶

第一部は、徳田寿風先生、大森英風先生を講師として令和七年度課題吟青年・一般の部の解説と吟詠があり、既に練習をしている方、コンクールに出吟される会員にはとても勉強になりました。

第二部は、令和六年度全国吟剣詩舞道大会合吟コンクール出場チーム発表があり、臥風流五チームを含め、九チームの素晴らしい合吟発表がありました。

第三部は、第十二回四国地区特別研修会香川県構成吟詠「瀬戸内海といにしえ人」として舞台のスクリーンに瀬戸内海の景色、詩吟のイメージ画像を映し出し、素晴らしい吟詠を聞かせていただきました。



左から 山地 信風、中村 江風、大森 英風、横山 公風、徳田 寿風、草薙 賢風

第四部は、令和六年度全国吟詠コンクール決勝大会入賞者三名の吟詠があり、臥風流からは池田弘隆さんが発表しました。



池田 弘隆

第五部は、「少壮OB競演」と題して、「大森英風新年を祝う」「徳田寿風櫻を詠う」を両先生が心をこめて披露されました。

最後に香川県吟剣詩舞道総連盟吟詠部長、徳田寿風先生より今年には巳年として脱皮し、新しい事にチャレンジしたいとの閉会の挨拶後、恒例になっている「新しき」^{あらた}を参加者全員で合唱して終わりました。

香川県吟剣詩舞道総連盟
徳田寿風吟詠部長閉会の挨拶

「新しき」合唱

会員異動のお知らせ

(敬称略)

(本部役員名簿令和5年7月の各頁を示す)

〔脱会〕

5頁 No.1 金蘭吟詠会

代表者 三笠 輝彦(輝風)

二月二十九日付

8頁 No.34 綾歌吟詠会

代表者 北山 幸義(幸風)

二月二十九日付

11頁 No.56 常磐吟詠会

代表者 寺尾 琳子(琳風)

一月三十一日付

〔会の復帰〕

7頁 No.19 瑞鳳会

代表者 奈良 正雄(正風)

四月一日付

〔会計次長の辞任〕

2頁 会計次長 木村 紅風

三月三十一日付

一身上による

〔理事の辞任〕

3頁 金蘭吟詠会 三笠 輝風

二月二十九日付 退会による

3頁 綾歌吟詠会 北山 幸風

二月二十九日付 退会による

3頁 常磐吟詠会 寺尾 琳風

一月三十一日付 退会による

〔理事の就任〕

3頁 No.19 瑞鳳会

代表者 奈良 正風

四月一日付 復帰による

〔総範の退会〕

21頁 菊井 勝(勝風・北浦)

五月二十日付 高齢による

22頁 木村 幸代(紅風・玉藻)

三月三十一日付

一身上による

23頁 北山 幸義(幸風・綾歌)

二月二十九日付 高齢による

24頁 長尾 久子(久風・金蘭)

二月二十九日付

一身上による

〔総範の休会〕

23頁 井上 喜代(喜風・昇風)

六月三十日付 高齢による

〔大師範の退会〕

25頁 三笠 輝彦(輝風・金蘭)

二月二十九日付

一身上による

25頁 吉原 美智子(陽風・金蘭)

二月二十九日付

一身上による

26頁 青木 勝美(勝風・下笠居)

三月三十一日付
体調不良による

〔大師範の復帰〕

25頁 貴志 早苗(早風・吟和)

二月一日付

連絡先 〒七六〇一〇〇七九
高松市松縄町433-16

TEL〇八七―八六六―七六五六

27頁 上枝 法子(法風・吟和)

二月一日付

連絡先 〒七六一〇一〇一〇一
高松市春日町783

TEL〇八七―八四一―四〇九七

〔大師範(所屬の変更)〕

7頁 上枝 法子(法風)

二月一日付

高松吟和会↓高松玉藻吟詠会

25頁 貴志 早苗(早風・吟和)

二月一日付

高松吟和会↓高松玉藻吟詠会

〔大師範(住所の変更)〕

25頁 貴志 早苗(早風・吟和)

二月一日付

高松市松縄町433-16↓
高松市松縄町1027-117

27頁 上枝 法子(法風・玉藻)

二月一日付

高松市春日町783↓
高松市春日町783-1

〔師範の退会〕

28頁 佐々木 新一(新風・溪風)

四月十日付

体調不良による

28頁 上原 節子(節風・寿風)

六月十日付 死亡による

30頁 遠藤 津多江(津風・仏生山)

三月一日付 一身上による

31頁 中村 良允(良風・寿風)

四月十日付 高齡による

32頁 丸子 勉(錦風・仏生山)

五年十二月三十一日付

一身上による

32頁 大川 喜子(喜風・悠風)

三月三十一日付 高齡による

32頁 小林 芳子(芳風・悠風)

十二月十七日付

一身上による

32頁 田中 絹子(絹風・悠風)

十二月十七日付

一身上による

33頁 安藤 律子(節風・悠風)

十二月十七日付

一身上による

34頁 高木 捷恵(捷風・春日)

四月十日付 体調不良による

34頁 宮本 稠(環風・春日)

四月十日付 高齡による

35頁 松村 清信(清風・長尾)

五月二十三日 死亡による

35頁 西山 繁子(繁風・鷺山)

十一月十一日付

体調不良による

36頁 香川 妙子(妙風・寿風)

四月十日付 死亡による

36頁 山田 江美子(江風・鷺山)

十一月十一日付

体調不良による

37頁 根津 喜美子(喜風・寿風)

四月十日付 一身上による

〔師範の休会〕

30頁 佐藤 依子(伶風・鶴尾)

三月三十一日付

一身上による

32頁 堀川 武夫(武風・英風)

六月三十日付

体調不良による

34頁 寺尾 琳子(琳風・常磐)

一月三十一日付

一身上による

38頁 開 良子(良風・英風)

六月三十日付 一身上による

38頁 寺尾 陽子(陽風・常磐)

一月三十一日付

一身上による

〔師範補の退会〕

40頁 小河 嘉子(臥嘉・悠風)

三月三十一日付

一身上による

〔準師範の退会〕

42頁 大饗 かをる(臥芳・高吟)

四月十日付 高齡による

〔準師範の休会〕

41頁 寺尾 珠子(臥珠・常磐)

一月三十一日付

一身上による

42頁 藤田 敏雄(臥雄・鶴風)

二月二十九日付

体調不良による

42頁 狩野 光月希(臥光・悠風)

三月三十一日付

一身上による

42頁 香川 あい(臥藍・鶴風)

四月十日付 一身上による

42頁 北原 紀子(臥紀・鶴尾)

三月三十一日付

一身上による

〔代表者の変更〕

5頁 No.8 下笠居吟詠友の会

5頁 生西 輝風↓五嶋 臥辰

5頁 No.5 高松玉藻吟詠会

7頁 木村 紅風↓小竹 勲風

No.23 坂出昇風会

鎌田 義風↓荒井 晨風

〔大師範(所屬の変更)〕

26頁 奈良 正雄(正風)

三木町吟詠会↓瑞鳳会

〔連絡先の変更〕

5頁 No.5 高松玉藻吟詠会

7頁 No.23 木村 幸代↓小竹 勲

7頁 No.23 坂出昇風会

13頁 No.74 大野 忠由↓荒井 進

13頁 No.74 三友吟詠会

高橋 渉↓蓮井 田鶴子

〔指導者の変更〕

5頁 No.5 高松玉藻吟詠会

12頁 No.65 木村 紅風↓小竹 勲風

12頁 No.65 北浦吟詠会

菊井 勝風↓木下陽風

〔指導者の復帰〕

7頁 No.19 瑞鳳会

7頁 No.19 奈良 正風

四月一日付 会の復帰

〔代表者・連絡先の復帰〕

7頁 No.19 瑞鳳会

7頁 No.19 奈良 正風(正雄)

連絡先 〒七六一〇六二二

木田郡三木町氷上410-3

TEL〇八七七八九八〇六八六

〔連絡先(電話番号の変更)〕

8頁 No.29 白鳥吟詠会

池田 憲隆↓小山 行春

小山 行春(春風・白鳥)

連絡先 〒七六九二七〇五

東かがわ市白鳥580-14

TEL〇八七九二五一八五三

9頁 No.41 誠風吟詠会

17頁 富田 康風

17頁 常任理事 富田 康風

21頁 総範 富田 康義(康風)

TEL〇八七五二四一四六〇

←

TEL〇九〇一七七八二四三八

16頁 名誉会長 宮本 浩風

21頁 宮本 守浩風(四電)

TEL〇八七七一八五三五六

←

TEL〇九〇三七八九二六五

28頁 藤川 美代子(美風・悠風)

連絡先 〒七六一〇一二三

高松市屋島西町1962-16

TEL〇九〇八六九八五二五五

〔郵便番号の訂正〕

36頁 山地 英文(岳風・寿風)

〒七六二一〇〇二二

←

〒七六二一〇〇八二

36頁 笠井 周二(周風・寿風)

〒七六二一〇〇二五

←

〒七六二一〇〇二五

〔氏名・雅号の訂正〕

25頁 坂東 恵美子(恵風・英風)

26頁 古川 しず子(静風・綾南陶)

しず子↓シズ子

(本部役員名簿令和6年7月の各頁を示す)

〔総範の退会〕

24頁 神内 照男(照風・ちきり)

四月三十日付

体調不良による

〔総範の休会〕

22頁 三好 昌子(昌風・ちきり)

四月三十日付

体調不良による

〔師範の退会〕

33頁 元家 達雄(寒風・寿風)

八月三十一日付

体調不良による

35頁 戸祭 恭子(恭風・ちきり)

四月三十日付

体調不良による

〔指導者の変更〕

8頁 No.31 鶴尾吟詠会

水鳥 翔風↓中村 江風

12頁 No.64 中村利江子(江風・石清尾)

ちきり吟詠会

三好 昌風↓伊丹 敏風

〔所属の変更〕

36頁 下川 邦雄(雄風・山本)

山本吟詠会→三観吟詠会

会員数の変更は省略します。

編集後記

昨年10月26日、全員研修会の朝
 四国新聞を手に取って思わず声が出た。一面に徳田氏(吟詠家)の大きな文字が目に入ったのである。県文化功労者の黒貫の文字の下にトップで掲載されており、いつもの徳田寿風会長のにこやかな写真に感動しました。

県文化功労者は、芸術や伝統文化等の分野で郷土の発展に功績があった個人をたたえる制度です。まさに徳田寿風会長にピッタリの受賞ではないでしょうか。吟詠界全体喜びであり、これを機に多くの方々に詩吟に関心を持っていただきたいと思います。

徳田寿風会長おめでとうござい
 ます。

皆様の情報・ニュースを
 お待ちしております。



日年 ヘビーにならないように!
 鍛冶田流風 制作

鎌田 鵬風
 浅井 延風
 片山 辰風
 田辺 磊風
 児玉 英風